

弁理士法人
清水・醍醐事務所

内外知的財産権ニュース

2024年12月

米国商標の料金改定

米国商標の出願等の手数料の改定が2025年1月18日付で発効することになりました。

<https://www.uspto.gov/about-us/news-updates/trademark-fee-changes-take-effect-january-18>

今回の改定の特徴は単なる出願費用の値上げというだけでなく、IDマニュアルに載っていない記載について追加の料金が加算される旨が追加されており、特に区分数が多く、ID マニュアルに記載の無い指定商品・役務を記載している場合には、かなりの値上がりになると思われます。

項目	旧	新
電子出願(1区分あたり)	N/A	US\$350
TEAS Standard(1区分あたり) *	US\$350	廃止
TEAS Plus(1区分あたり) *	US\$250	廃止
ID マニュアルにない指定商品・役務(1区分あたり) * 1 条、44 条に基づく出願	N/A	US\$200
1 区分あたり 1000 文字を超える指定商品・役務 * 1 条、44 条に基づく出願	N/A	US\$200
8 条宣誓(1区分あたり)	US\$225	US\$325
15 条宣誓(不可争性)(1区分あたり)	US\$200	US\$250
71 条宣誓(マドプロの使用宣誓)(1区分あたり)	US\$225	US\$325
使用意図出願の使用宣誓書(1区分あたり)	US\$100	US\$150

米国トランプ次期大統領

トランプ氏が米国の次期大統領に決まり、閣僚人事がスムーズに上院の承認を得られるのかが話題になっております。米国特許商標庁長官も当然交代になるのですが、来年を待たずに現長官の Kathi Vidal 氏が退任を発表しました。以前所属していた法律事務所 Winston & Strawn LLP に戻る事が発表されています。また次の長官が誰になるかも注目されるようです。

また、トランプ次期大統領が関係する団体により多数の商標出願がなされています。例えば有名な『MAKE AMERICA GREAT AGAIN』は 2016 年の前回大統領選前 2015 年に出願がされ、『MAKE AMERICA GREAT AGAIN』登録後 5~6 年の使用宣誓書も提出されて権利維持がされています。

さらに今後は暗号資産に対して積極的な姿勢をみせると考えられていますが、トランプ次期大統領が関係するソーシャルメディア会社 TMTG(Trump Media & Technology Group Corp)は、下記の商標出願を行っています(出願人は T Media Tech LLC)。

商標: TRUTHFI

指定役務: 36 類

Cryptocurrency payment processing; Credit and cash card payment processing services; card payment processing services; Financial asset management; Financial custody services, namely,

maintaining possession of financial assets for others for financial management purposes; trading in digital assets

その他 9 類、35 類、42 類も出願

OpenAI の Open AI に対する予備的差止命令が控訴事件で確認される

カリフォルニア州北部連邦地裁は、OpenAI（原告）の Guy Ravine 及びその会社である Open Artificial Intelligence（被告）に対する予備的差止命令を認める決定を 2 月 28 日付で下していましたが、これに関し第 9 巡回区控訴裁判所は地裁判決を確認する旨の判断を下しました。（2024 年 11 月 13 日付）。両者はほぼ同一の商標であり、前者は OpenAI（スペースなし）、後者は Open AI（スペース有）を使用していました。

原告 OpenAI の商標出願は、識別力と被告の線出願商標（補助登録）により拒絶されており、本件訴訟の結果がでるまで Suspension となっております。

以上